



寒かばってん 頑張るぞ 司祭団マラソン (1月31日)

1月号において、来年は小教区設立五十周年と記しましたが、設立は2019年になります。お詫びいたします。

島のひかり ホームページアドレス  
<http://lifeaidgoto.jp/cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会  
 広報委員会  
 五島市平蔵町2716  
 TEL 0959-00072  
 印刷・(株)才津印刷所

## 復活の恵み

主任司祭 岩崎 晋吾

四月四日現在、やっと教会の桜のつぼみもほどけ始め、木全体は桜色に変わってきました。三日前、奥浦地区のミニデイ・老人会の花見が行われましたが、天気あまり良くなく、また何よりも桜が咲いていないということと結局、公民館で集いが行なわれました。会長さんの挨拶「皆さん、今日は残念です。見る花もありませんので、お互いの鼻を見ながらよろしくお願います。」ということ、楽しい鼻見となりました。

桜という木は、開花前のつぼみであっても命の誕生を感じさせるもので、満開になりますと散っていく死を感じさせるものです。死と生、死と復活をこれほど私たちに見せてくれる木は他にはあまりないと感じております。しかし、それは自然の命です。いつ散り、いつ咲くのか私達には確実に知ることができません。開花予想も当てにはな

りません。

先日、主日の福音でラザロの復活の場面が読まれました。これは最後の時の復活の話ではなく、人生の中で何度も起こる死と復活の話をしているのだということに気がきました。今まで私の中で起こってきた死と復活を思い起こす時であり、そして感謝する時です。また、これからはキリストによってその死と復活を繰り返して、生きて成長していくのだということに自覚することを感じました。しかし、その死と復活の時は桜の木と同じように、いつどのように起こるかということとは予測不能です。

さて、私も六年間お世話になった浦頭小教区から転任となりました。この間、振り返ってみると、私も死と復活を繰り返してきたのだと思っております。そして、その復活の時に信徒の皆さんの支援助と祈りがあったことを思い起こすのです。

ありがとうございました。

**教会の照明が変わりました**

木口 秀憲

これまでの照明器具が故障し交換を依頼したところ、物が廃番となり似た物もないとの事。以前から照明を何とかしたいなとの思いもあったので、この際すべて取り替え、LED化も図ろうということになりました。

どうせやるなら若者のセンスを取り入れ、思い切って変えようということと青年会に相談したところ、「教会ガノアの箱船のイメージだから船のイメージで」との意見。そこで、マリンランプを選んでみましたが、「ちょっと海鮮居酒屋風になっちゃてしまうね」ということで、じゃあ雰囲気は残しながら教会に合う物ということで、今回の物にたどり着きました。皆様の感想はいかがでしょうか？

また、前年度の神羊館防水工事に引き続き、今回の工事も岩崎神父様の寄付により早期に実現することが出来ました。

“岩崎神父様に感謝”

**平成29年度 浦頭小教区評議会役員名簿**

<p>評議会会長(主任司祭) 小瀬良 明</p>		<p>信仰教育委員会 委員長 入口 明 宏 副委員長 鍋 内 秀 喜 会 計 鍋 内 総 長 委 員 (小学校) 浜崎 毅 (中学校) 入口 庄二 修道院長 Sr.竹口 菊美 カテキスタ Sr.田端 (小1、2年) Sr.大水 (小3、4年) Sr.藤原 (小5、6年) 神父様 堅信組</p>	
<p>議 長 赤 尾 栄 副 議 長 鍋 内 秀 明 書 記 入 口 信 会 計 浜 口 幸 隆</p>	<p>地区委員会 委員長 浦 口 成 人 会 計 梅 木 征 至 (地区委員) (補佐委員) 浦 頭 浦口 成人 沼田百合枝 川口 清人 鍋内 美保</p>	<p>典礼委員会 委員長 小 田 哲 也 副委員長 浜 口 幸 隆 委 員 本村 義則, 浦口 一三 浜崎 秀明, 荒木 善弘, 浜崎 毅(聖歌), 浜崎 哲司, 鍋内 総長, 入口 明宏, 鍋内 孝之 木口 北斗, 赤尾 幸治, 赤尾 克子 江口 初子, 川口 秀子</p>	
<p>経済問題委員会 (堂崎天主堂保存委員会) 委員長 鍋 内 誠 次 会 計 木 口 秀 憲 小 田 洋 市 川 口 孝 章</p>	<p>大 泊 梅木 征至 浜 泊 浜口 信行 川口 香 堂 崎 入口 末克 入口つるみ 嵯峨瀬 谷口 英子 宮 原 大楠 進 半 泊 宮川 喜一</p>	<p>広報委員会 委員長 竹 山 要 司 副委員長(島のひかり編集長) 木 口 重 憲 会 計 赤 尾 淳 委 員 小田 洋市, 竹山 巧 木口 誠也, 入口 信 江口 初子, 田川小枝子 尾崎 ナオ</p>	
<p>壮年会 会 長 赤 尾 淳 副 会 長 梅 木 良 勝 書記会計 川 口 清 人</p>	<p>シメオン・アンナ友の会 会 長 本 村 義 則 副 会 長 浜 口 信 行 副 会 長 小 田 幸 子 書記会計 赤 尾 スミエ</p>	<p>福祉委員会 会 長 赤 尾 一 美 副会長・会計 鍋 内 康 則</p>	
	<p>女性会 会 長 木 口 幸 恵 副 会 長 赤 尾 貴代子 書記会計 赤 尾 美智代</p>		
	<p>青年会 会 長 川 口 広 平 副 会 長 木 口 大 地 会 計 鍋 内 瑞 希</p>		

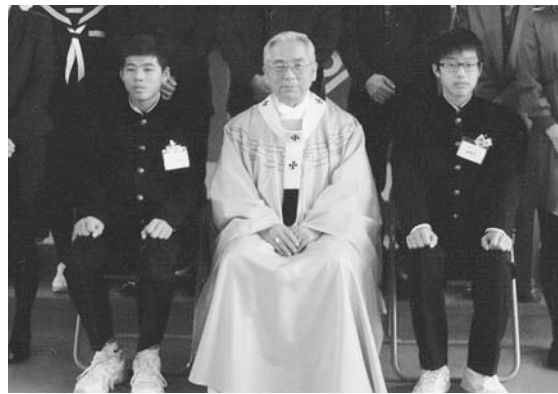
# 堅信のお恵みを受けて

二年 入口 駿一朗

堅信式を終えてホッとします。堅信式と言われると、かたくるしい感じがして、名前を聞いただけでは緊張しましたが、実際、受けてみるとあまり緊張しませんでした。堅信式を受けられたのは、神父様やシスターの指導があったからだと思えます。小学生のときは、火・木の曜日でミサやけいこなど、いやがっていました。が、シスターが最後まで優しく教えてくれ、中学生になると、毎週土曜日に神父様がけいこをしてくれました。ちゃんと受けられたことに感謝したいと思います。堅信式を受け、身も心も成長したと思えます。今よりも、真面目に教会のミサに来たいと思います。そして、けいこをしなくなった分、自主的に教会のことについて学びたいと思います。毎日、感謝の気持ちを忘れずに生活したいと思えます。

二年 鍋内 優海

僕は一月に堅信式を受けました。堅信式を受ける前までは、一年生の時から教会のけいこでこの日までたくさん勉強してきました。そして、当日の朝



入口

鍋内

を迎えました。はじめは違う教会の人たちが多く、緊張しました。でも、次第に慣れていき、落ちついて堅信式を受けることができました。ミサ中で油を塗ってもらい、少しずつだけ成長していているなと感じました。

無事、堅信式を終えられて、教会のけいこは終わったけれど、ミサなどがあるので頑張っていました。堅信式を受けるまで、たくさんの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。ございました。

## 初聖体

二月十二日、今年は三名の初聖体式が行われました。聖書朗読、聖歌、共同祈願と上手に行うことができました。

保護者を代表して鍋内孝之さんがお礼の言葉を行い、感謝と賛美に包まれた式となりました。

四月から小学一年生となる子供たちは、初聖体でどのような感想を持ったのでしょうか？



はつせいたいをうけてうれしかったです。はじめてのごせたいはおいしかったです。これからもおいのりががんばります。

いりぐち えいと

はつせいたいのおきはなやきょうかいのえほんやいっばいもらえてうれしかったです。

はつせいたいがおわってうちにたくさんのおいわいにきてくれてうれしかったです。ベールもかぶれておはなもあたまにつけてもらってうれしかったです。

なべうち みゆ

はつせいたいではじめてみんなのまえてせいかをうたったのでとてもドキドキしました。

そしてごせたいをはじめたべたときは「あじがないな」とおもいました。でも、ミサでごせたいをもらうのは、たのしみです。

しらはま るい

## 岩崎神父様

### 霊名を祝う

二月五日、岩崎神父様の霊名である二十六聖人のひとり、聖パウロ三木を賛えて、お祝いが行われた。

この日は、五島市議員選挙の投票日でもあり、出席者も少ないかなーと思いきや、なんと大人三十名。子ども三十名が参加し、会場も大変盛り上がった。特に子ども達の自己紹介や、歌などが会場を盛り上げてくれた。岩崎神父様は今年、銀祝を迎えられます。神父様のために多くの犠牲と、お祈りを致します。



## 「ユスト高山右近 列福式に参加して」

Sr木口 松枝

去る二月七日、高山右近生誕の地大阪で列福式が挙行されたので参加させてもらった。福岡空港で乗り換え大阪伊丹空港へ。

この日、列福式前夜の祈りが各教会で行われるとのこと、近くの教会に出かけた。車は帰宅時の渋滞に遭い、遅刻してしまった。恥かしい思いをしながら参加したのだった。

七日当日は早目に出掛けたが、大阪城ホールの北門に着いた時には、すでに百人以上の行列が出来ていた。各修道会のシスター方と挨拶をしたり、知人と話していると開場となり、大東教会の一信徒に入れていただき「うーD」(アリーナ)席をとってもらい、祭壇に近い所で感謝だった。ミサ開始前には、右近様に関するDVDがスクリーンに流れ、式を迎える心の準備ができた。定時になると十字架・遺物を先頭に、続いて教皇代理のアンジェロ・アマート枢機卿が入堂された。端正

な容姿と、品性のとれたそのお姿に似合った優しいお声で式が始まった。先ず、東京の大司教から右近様の列福の請願に対しそれを受けて教皇代理が、「神のしもべユスト高山右近を福者の列に加える」と宣言された。その時、右近様の肖像画が上部に現われた。場内は水を打ったような静寂さの中に、天国で至福に浸っている右近様の霊が降りて来て、一万人で満っている会場を温かく包んでいけるのではないかと感動を覚えた。四百年前の戦国時代に、大名の地位にありながら神の国の建設のため、名誉や豊かさを捨てて辱めと追放を選び、奉献生活者もかなわぬ八日間の霊標などで霊性を深め、強い信仰の基、神の愛を貫いたとのこと。キリストの姿が想像できる。家を出て帰宅するまで六時間半を要していたが、身も心も何かに掃き清められたような尊い一日だった。

翌八日は、大阪カテドラル聖マリア大聖堂で、日本司教協議会の会長高見大司教司式に依る列福感謝ミサが行われた。昨日の荘厳さの中に盛大に挙行された式をもう一度味わい、その余韻を胸に帰路についた。

## 「ぎんぎん！ 駆け 我らの 司祭団マラソン」

昨年、悪天候のため中止になった司祭団マラソン。今年は冬晴れの中、健脚を披露する舞台上に心躍る神父様。きついけど、ちょっと頑張ってみるか、少々の不安も同居させながら一歩を踏み出す神父様。いろんな気持ちに乗せながら、堂崎天主堂から「ヨイ・ドン」

信徒、マリアの園、マリア保育園の職員の参加や、シメオン・アンナ友の会による給水ボランティアに加えて、信徒・園児の声高らかな「ガンバレ」コール等も入り混じりながら、沿道は活気一杯に盛り上がりました。



まだ笑顔

### 御支援に感謝して

木口 利光

浦頭小教区信徒の皆様のおかげで、そして心温まる御支援により去る二月五日開票の五島市議会議員選挙の結果、三回目の当選をさせて頂きました。心より感謝申し上げます。

信徒の皆様が多くの方々に声を掛けて下さり、また四一五ヶ所にもおぼる、選挙ポスター掲示板のポスター貼りをして下さいました事。一週間の選挙期間中、寒中を外に出て下さり、手を振って激励して下さいました。その全てで、大きな力を頂きました。今後は(1)「教会の声」「地域の声」を市政に届ける事。(2)人口減少に歯止めをかけるため国境離島新法を活用する事。(3)世界遺産登録を実現し、その受け皿づくりに取り組む事、を中心にしっかりと汗をかいていく所存です。今後とも、どうぞよろしく御指導下さい。

### 『子羊の家』

### 『コーヒー販売始』

青年会がミサの祝福を受け、晴れ晴れとした気分信徒に更なる「癒し」の場を提供しようと立ち上がりました。コーヒーの他にソフト・ドリンクを用意。オレンジ・リンゴジュース・お茶等一杯百円。子供には特別料金・五十円に設定。世間話しが盛り上がる事、必至。

“ぜひ、お越し寄せ”



### 映画会

四月二日、神羊館で「サン・オブ・ゴッド」の映画会が行われました。今回はイエス様の一生を聖書に忠実に描いた映画でした。

当日は、前回同様たくさんの方に来て頂き、長時間の上映にもかかわらず、ほとんどの方に最後まで見て頂きました。ただ、前回の映画と違ったのは、静寂の中、ラストの受難のシーンから、すすり泣く声が聞こえてきた事でした。イエス様の受難を描いた映画は様々ありますが、どれも残酷なものです。今回の映画も直視できない場面もありますが、多分、当時のイエス様はそれ以上の事をされていたと思ひながら見ていました。それでも神様を信じて、十字架上で亡くなったのは、私たちの為である事と改めて思い知らされました。

ただ、受難後の復活。あの受難があったからこそ、喜ばしい出来事を今日迎えられるまし

たが、自分の弱さに躓く時は、ちよつとだけ、あのシーンを思い浮かべながら、過ごしていければと思います。

“ありがとう”

サクラの花が今を盛りに咲き、人々は新しい出会いがあり、別れの季節です。

それぞれの置かれた場所で、咲くことでしょう。新年度も、おたよりや御芳志等の協力頂き、感謝申し上げます。

- カトリックセンター
- 野下 千年 神父様
- 東京都 出口 登代美 様
- 長崎市 崎浜 宏美 神父様
- 長崎市 浜口 末明 神父様
- 大司教館 片岡 久司 神父様
- 青方 真浦 健吾 神父様



## 今年の黙想会

今年の黙想会は、カトリックセンター事務局長であり、上五島若松の土井ノ浦出身であられる下窄英知神父様の御指導のもと、三月六日の夜の部、七日からは昼の部で三日間、黙想を致しました。主に神父様の家族のお話しが主体でしたが、その中に大事な神様の教えが沢山あったと思います。

### 感謝のことば

信徒代表 山本 一夫

下窄神父様、三日間の黙想をご指導下さり、ありがとうございます。『五島へ五島へと皆行きたがる。五島は優しや土地までも』カステラのテレビCMで覚えたフレーズですが、私が初めてこれを聞いた時、不思議と自分のルーツである先祖のイメージが浮かんだことを覚えております。住み慣れた土地を捨て、遙か彼方の島・五島に旅立つ時の希望、決意、不安を胸に

キリシタンが詠んだ詩だったのです。今回の黙想会では、下窄神父様の生い立ちや家族のこと、まさにファミリーストーリーを興味深く聞かせていただきました。父親、母親、兄弟、姉妹の中での自分の立つ位置、子供のころの大事なお風呂沸かし仕事など。実は私自身も、家は百姓で貧しい戦後生まれの団塊の世代。神父様のお話と重なるものがあり、共感できました。私の子供時代の風呂焚き仕事は、水道は後々のこと毎日井戸から水バケツを天秤棒でかついで五右衛門風呂を満たしたものです。それはさておき、自分は母親に愛されていないのだろうか、子供時代からのもやもやと、うっ積した気持ちを成人してからの息子に打ち明けられた時の母親の気持ち、涙が出るほどお察しできます。お母さんから初めて『ごめんなさい』と言われ、自分の気持ちが本当に和らいだ、これで本当の息子になった。普通の人間になった。神様の許し

愛の体現に繋がっているように思います。また、父親が高齢になり、大病した折、母親に結婚して初めての『ありがとう』の言葉から、重大な夫婦の危機を脱した。今は両親共に、高齢ながら充実した時を過ごしているとのこと。本当に、心底からの『ありがとう』の言葉に救われたと思います。私たちの中で残りの人生が少ないお方と、そうでないお方も、奥様に心から『ありがとう』を述べてみましょう。家庭が、人生がさらに明るくなるでしょう。『ごめんなさい、ありがとう』は当たり前前に使う言葉でしょうが、この黙想会を機会に人生の大事な局面で、心からはっきりとした言葉で発したいと思えます。最後に下窄神父様は司祭叙階25周年、つまり銀祝を迎えられると伺っております。円熟した祭司職、また人生において健康に留意され、益々のご活躍を祈念して、お礼の言葉といたします。ありがとうございました。

### 移動信徒の集い 川口 大輔



高校三年間を振り返ってみると、本当にいろんなことがあったと思います。高校生活の三年間は、とても忙しい日々でしたが、勉強と部活だけの日々でしたが、僕は大学の合格というものを勝ち取った瞬間、今まで頑張ってきた良かったという気持ちと、今まで支えてくれた方々に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。四月からは山口県の大学に行きます。将来への夢に一步でも近づけるように、これまで以上に頑張っていきたいと思えます。

## おたより

「島のひかり編集部」の皆様  
 第一号発刊から50年に近い48で  
 しょうか？よく続いて来ました  
 ね。編集にたずさわる皆様の根  
 気づよさに感動しながら、毎号  
 楽しみにし、読ませていただい  
 ております。今後のご努力を神  
 さまが祝福して下さいますよう  
 に。

長崎市 野下千年神父様

何時も島のひかり送って頂き  
 ありがとうございます。創立50  
 周年に向けて島から信仰の光を  
 放って下さい。

福岡県行橋市 Sr川口マツエ

最近読んだ本の中に五島とい  
 う場所です。「聖ヨハネ五島殉教像」  
 や「牢屋の窄記念教会」四十二  
 名の石碑にふれ、長崎、とりわ  
 け五島列島は日本のキリスト教  
 信仰の原点を肌で感じ取らせて  
 くれる場所。

東京都 出口 登代美

何も出来ませんが、及ばずな  
 がらお祈りをさせていただきま  
 す。神父様をはじめ役員の皆様  
 信徒の皆様方の上に神様の豊か  
 なお恵みがありますように。

天草市大江修道院

Sr赤尾スミエ

旧年中は、本当に心温まるお  
 もてなしを受け、又、様々な御  
 支援に有り難く感謝しておりま  
 す。この度も沢山の御支援に驚  
 きと共に、神様の御力を感じず  
 にはいられませんでした。  
 野原昭子に代わりお礼申し上  
 げます。有りありがとうございます  
 た。

新しい年も、世界中の子ども  
 達が、そして人々が、神様の太  
 きななぐさめと、慈しみの中に  
 過ごせますようお祈りしつつお  
 礼とさせていただきます。

福岡県遠賀郡

エルピス会 俵 靖子

編集部の方々のご苦勞に、本  
 当に頭が下がります。しかしそ

の苦勞が、「島のひかり」を受  
 け取る一人ひとりに、大きな喜  
 びをもたらすに続けているので  
 す。それに勇気づけられ、場合によ  
 つては教会や信仰生活に引き戻さ  
 れた人も数多くいたに違いあり  
 ません。

聖ルドヴィコ神学院

院長 濱口末明神父様

### 秘

### 跡

《初聖体》 (二月十二日)

使徒ヨハネ 入口 瑛翔(えいと)

クララ 白濱 琉唯(るい)

マグダラのマリア

鍋内 心優(みゆ)

《帰天》

マルタ 山川フサノ (九十五歳)

(一月二十九日)

アントニオ梅木末光 (五十四歳)

(二月一日)

ヨゼフ 木村 末雄 (八十九歳)

(三月十四日)

《転入》

アグネス 鍋内 結美 (福岡市)

## こんにちは。

尾崎 ナオ

仕事を早めに切り上げて、二  
 年前に神奈川から引越して参り  
 ました。福江に仮住まいしつつ、  
 家を探していました。第一希  
 望の奥浦は特に難しいようでした。  
 それでは、まず教会からと  
 十月に福江教会から転入しまし  
 た。

親身に相談に乗って下さり、  
 方々に問い合わせさせて頂いて有  
 難うございました。ご紹介頂け  
 るお家がありましたら、ぜひよ  
 ろしくお願い致します。

こちらに来てからは、貸して  
 もらった田畑で、種を蒔き苗を  
 育て米と糯米を収穫し、椿の実  
 を拾い、初めての経験を子ども  
 のように楽しみました。家が決  
 まり落ち着いたら、何かできる  
 仕事を探してみようと思えます。  
 奥浦混声合唱団に入っている  
 ご縁で、ミサでは聖歌隊席にい  
 ることが多いです。皆さま、ど  
 うぞよろしくお願い致します。

## 浦頭教会 つばきコンサート

2/12



「若者が音楽で社会と繋がる」をテーマに活動するマザー・アース・プロジェクト。二〇一一年の東日本大震災の時に、代表である中島君は中学二年生。地震や津波の被災者と関わる中で、自分の得意な音楽で傷ついた心に寄り添えたらと、高校一年生の時に発足させたオーケストラ団体で、全国に一五〇名もの団員がいるそうです。凡人には考えもつかない発想と、行動力には脱帽…。今回は二〇一六年に五島の人と宮城県気仙沼市で防潮林に五島の椿の苗木を植樹した「つばき」繋がり。縁を結んだ十名ほどの若き精鋭の奏でるハイモニーに聞き入り皆ほっこり

### 地域の絆をたすきで繋ぐ

一月二十九日、心配された天候にも恵まれ、第十三回市民駅伝大会が執り行われました。

今回は奥浦からは男子A、B、シニア、女子A、Bの5チームが参加し、白熱したレースを見せてくれました。

男子Aチームは、4区の濱崎毅さんの区間新の快走もあり、地区別2位、総合8位の好成績でフィニッシュ。シニアチームは長年、背中を追いかけていた五島酔夢会を抜き、見事シニアクラス1位に輝きましたね。Bチームは繰り上げスタートの恐怖に怯えながらも、最後までたすきを繋ぐ事が出来ました。

女子Aチームは、全区間区間賞という青山学院並の活躍で大会新の優勝。Bチームも3位入賞という素晴らしい結果でした。毎年、地域の為、共に走る仲間の為、全力で走るランナー達。来年はどんな走りでしたすきを、絆を繋いでくれるのか楽しみみです。参加された皆様、お疲れ様でした。

### しまのまちづくり 活動発表会

三月四日、五島市役所に於いて、五団体の発表が行われた。

① 崎山地区「命の大切さ、食卓から始まる生教育」

② 奥浦地区「安心と絆を届ける 買物弱者支援を目指して」

代表として岩崎神父様が発表された。

③ 玉之浦地区「古民家『松ノ下』を拠点とした、ふれあいの輪が広がるまちづくり」

④ 岐宿「一人より二人、二人より三人、若い僕らが今できること」

⑤ 三井楽地区「万葉公園に賑わいを創る」

それぞれの地域を思う心が感じられた。会場には二十のテーブルが設けられ、各地区が一名ずつ席に着き、約百名程の参加であった。最後に講師として、ナガサキベイデザインセンター代表理事、梅元建治さんの総評でこの会を閉会した。

### 編集後記

マッコよ、手遅れになる前に

ある朝、ミサに行く準備をしていると、きゅりーぱみゅぱみゅのご機嫌な声が聞こえ、何のCMだろうと見ると、きゅりーが「企業名」にはイースターを楽しくむヒントがいっぱい」と言っていた。以前、マッコデラックスが「ハロウィンのお祭り化は止められなかったが、イースターのお祭り化は私が断固阻止する」と言っていたのに、恐れていた事がそこまで来ている。そして、まずこのCMを見て思ったのが「イースターを楽しむなら大斉小斉をしてから言って！」と何とも心の狭い事を思い、続けて「黙想と許しの秘跡も！」と心の中で呼んでいた。挙げ句、きゅりーが食べていたのは「オムライス」って・・・。

イースターはとても喜ばしい事なので、みんなでお祝いするのはいい事なのだが、何もわからずお祭り化はどうなの？と考えさせられた朝だった。